

平成30年度 研修の構想

昨年度の様子

〈学力調査の結果〉(H29 国語,弱点)

- ・語彙力が低い。
- ・物語を読み、叙述を基に理由を明確にして、自分の考えをまとめる力。
- ・物語を読んで感想を伝え合い、自分の考えを広げたり深めたりする力。
- ・説得力をもって自分の考えを伝えるため、引用して書く力。

〈CRT から見る児童の実態〉

(H29,2月 国語 5年)

- ・相手や目的に応じて適切に話す力。
 - ・説明的な文章を読むこと。
 - ・正しい仮名遣いを知ること。
- (H29 国語 5月実施各学年)
- ・話の中心や話し手の意図を考え聞くこと。
 - ・話題に沿って話すこと。
 - ・伝わるように話すこと。
 - ・文学的な文章を読むこと。

〈H30 全国学テの結果から〉

- ・敬語(尊敬語・謙譲語)
- ・主語・述語のねじれの理解。

〈昨年度末研修反省より〉

- ・全校統一した取組(広野スタイル)
- ・発表の際の言葉についてもモデルを示すなど、検討していく必要がある。
- ・宿題の質と休日の勉強量。

◎話し合い活動を中心とした、深い学びのある授業づくり。

◎「広野スタイル」の授業の構築

1. 研究主題

『豊かな思考を表現する「つなげる力」の育成』

～学びを共有する「広野スタイル」の確立～(2/2年次)

2. 研究仮説

- (1) 学びの過程を共有し、見通しをもって学習することで主体的に学び、相手意識をもって考えることができるであろう。
- (2) 様々な表現方法を知ること、思いを効果的かつ的確に表現することができ、学びを深めることができるであろう。(今年度重点)

〈めざす子ども像〉

～話し合い活動を通して学びを深める子～

- ① 見通しを持ち、情報を共有しながら主体的に学習を進めることができる子ども
- ② 方法を工夫し、豊かにつたえることができる子ども

